

序にかえて

『生体の科学』では、これまで、連載講座として「新しい観点からみた器官」を6年余にわたり連載してまいりました。研究技術の進歩により、構成する細胞や組織についての新しい知見の急速な増加、また、疾患の概念の変化などを受けて、臓器・器官に対する見方・捉え方が変わってきていることが実感されました。

見方が変われば、同じ器官でもより新鮮に捉えられ、この夢多き器官といえるような奥深さを感じられます。私どもは、もっと多くの器官について、同じような新しい見方で系統的にまとめてみたらと考え、この度、増大特集号の主題に取り上げることになりました。

この特集では、各器官について新しい視点や、関連トピックス、今後の展望などが示されています。器官を捉えなおすことが意図されていますので、教科書にならない新しい器官像が浮かび上がってくることと思います。広く医学・生物学領域の研究者、学生の皆さんの貴重な参考にしていただければ幸いです。

おわりに、この企画の趣旨にご賛同いただきました多数の執筆者の皆様に深く感謝申し上げます。

『生体の科学』編集委員

伊 藤 正 男

石 川 春 律

野々村 禎 昭

藤 田 道 也